

安心の設計

介護、医療、子育て、老
るご意見・疑問をお寄せ
メールansin@yomiuri.co.jp
ファックス03・3217・9957

介護保険でよく利用されるものの一つに「デイサービス（通所介護）」があります。自宅で暮らしている人が介護施設に通い、食事や入浴をしたり、体操やレクリエーションを楽しんだりします。

一般的な例でデイサービスの1日を説明します。

朝、施設の職員が自宅まで車で迎えに来てくれます。その日の利用者の家を順番に回って施設に到着すると、まずは健康チェック。体温や血圧を測って記録します。

その後は、そろって体操をするなどして、生活上、必要な体力や健康の維持を図ります。「機能訓練」といい、リハビリに近いイメージです。

日常生活の支援もデイサービスの目的です。希望する人は、順番にお風呂に入ることができます。介護の必要度に応じ、入浴や排せつでは職員のサポートも受けられます。

介護のキホン 5

デイサービス

◆ディサービスの1日のイメージ

- 朝

 - ▶送迎車で施設に到着
 - ▶検温や血压測定など
健康チェック

体操など

昼食

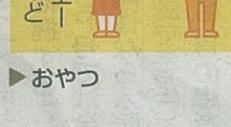
 - ▶昼食
 - ▶施設で特色の

夕

シヨンなど

レクリエー

ト

 - ▶おやつ

ト

▶送迎車で自宅へ



デイサービスには、利用者が可能な限り自宅で生活を続けるように、心身の機能維持を図る狙いがあります。また、「利用者の異変に気付くことも大事な役割です」と西野さんは言います。入浴中に湿疹や床ずれがあることによく気付いたり、滞在中の言動で気にならることがあつたりした時に、ケアマネジャーに連絡するなどして医療機関につな

ながります」と説明します。運営方法も工夫しており、朝、利用者が集まると、その日の昼食とおやつのメニューを利用者とスタッフで話し合って決めているそうです。

ツフと一緒に、昼食やおやつ作りをする人もいます。

1日8000円程度（自己負担
1割のケース）。ただし、入
浴や昼食などの費用はここに
は含まれていません。

デイサービスを選ぶ際は、
活動内容が自分に合っている
かどうかが重要です。決める
前に、内容や特徴をよく比較
し、見学もして選ぶことが大
切です。 （小野健太郎）

*次回は7月13日に掲載予
定です。

料金は、サービス内容や利用時間、住んでいる地域、施設の規模などで変わります。例えば、要介護3の人が、通常規模型（定員19人以上）のデイサービスを「6時間以上

ぐ」ともあるそうです。